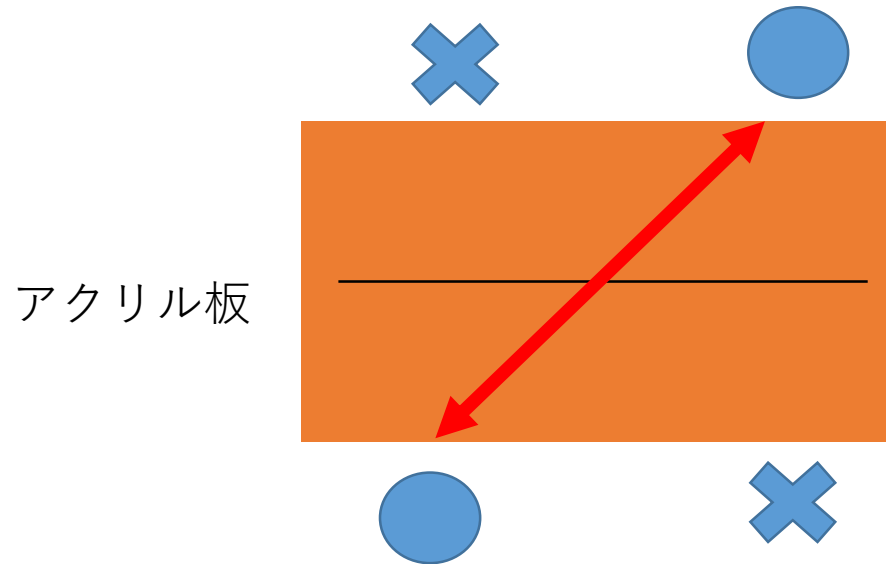


# ケア場面での対応について

## 食事のケア場面

**食事、おやつ、喫煙などマスクを外して会話する機会は最も感染が拡がりやすいタイミング**



- 食堂に一度に集まる人数を減らし、座席の間隔は2 m以上空ける
- 対角や背中合わせで座って、間にアクリル板を設置する
- 2 m確保できない場合、食事中は必ずマスクを着用する、または間にアクリル板を設置する

# ケア場面での対応について

## 口腔ケアの場面

介助時に飛沫が多く飛ぶため、感染するリスクが高い

- ・歯ブラシとコップの保管は入居者の各居室で行う。また、通所サービスの利用者は各自で保管する
- ・防護具（マスク、エプロン、フェイスシールド、手袋）を装着し、適切な方法で脱衣して、手指衛生を行う
- ・正面ではなく、横に立ってブラッシングする



装着が必要



フェイスシールド



使い捨てエプロン



サージカルマスク



使い捨て手袋



体液や分泌物に触れるケア（オムツ交換、陰部洗浄、排泄物の処理、物品洗浄・消毒、汚染リネンの処理・消毒など）場面でも防護具を着用し、適切な方法で脱衣して、手指衛生を！

# ケア場面での対応について

## 利用者との関わる場面



検温時や人が集まったり、会話をするなど関わる時には職員、利用者のお互いがマスクを着用する

利用者のマスク着用が難しい場合は、必ず「マスク」＋「フェイスシールド」または「アイシールド」を着用し、目の保護を

## レクリエーション（集合）の場面

- ・マスクを着用する
- ・マスクを外す場合、2 m以上の距離を確保、向き合わない配置
- ・体調を確認して参加する（体温測定、症状確認等）
- ・前後での手指衛生の徹底
- ・時間をずらす等工夫して人数制限する
- ・こまめな室内換気をする
- ・施設内で密集するイベントは控える



ソーシャルディスタンス

# 換気の方法について

- ・定期的（例えば日中は1時間に1～2回程度、1回10分程度）に行う

- ・開窓による換気は2方向以上で行う

※風の流れることができるように施設状況に合わせて工夫する



- ・発熱や検査中の利用者がある場合は、個室に入室してもらい、換気をこまめに行う

※この場合は1方向のみの換気で、換気時に個室の空気が施設内のオープンエリアに流れない工夫が必要

**何よりこまめな換気が大切！！**